

貸借対照表
(令和6年3月31日現在)

名古屋市中村区名駅三丁目21番7号
株式会社三交イン
代表取締役社長 村田陽子

科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
(資産の部)	2,470,430,248	(負債の部)	3,235,558,347
流動資産	816,260,020	流動負債	1,971,490,437
現金及び預金	58,558,151	買掛金	120,982,663
預け金	38,676,964	短期借入金	100,000,000
売掛金	518,725,750	1年内返済予定の長期借入金	930,568,000
貯蔵品	27,705,575	未払金	307,813,585
前払費用	152,773,094	未払費用	104,530,050
未収入金	6,341,822	未払法人税等	176,723,600
その他	13,478,664	未払消費税	99,773,200
		前受金	48,108,983
		預り金	15,384,356
		賞与引当金	67,606,000
固定資産	1,654,170,228	固定負債	1,264,067,910
有形固定資産	880,416,891	長期借入金	1,221,628,000
建物	777,508,950	退職給付引当金	36,139,910
構築物	34,337,499	長期預り保証金	6,300,000
工具器具備品	68,570,442		
		(純資産の部)	△ 765,128,099
無形固定資産	15,419,605	株主資本	△ 765,128,099
施設利用権	699,410	資本金	10,000,000
ソフトウェア	14,611,445	利益剰余金	△ 775,128,099
その他	108,750	利益準備金	2,500,000
投資その他の資産	758,333,732	その他利益剰余金	△ 777,628,099
長期前払費用	15,031,606	繰越利益剰余金	△ 777,628,099
敷金及び保証金	617,064,500	(当期純利益 456,655,502)	
繰延税金資産	105,628,535		
その他	20,609,091		
合 計	2,470,430,248	合 計	2,470,430,248

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産

貯蔵品：最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却方法

①有形固定資産(リース資産を除く) 定率法

但し、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く。)並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法により償却しております。尚、耐用年数及び残存価額については主として法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

②無形固定資産(リース資産を除く) 定額法

尚、耐用年数については主として法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

(3) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

従業員賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

② 退職給付引当金

従業員の退職により支給する退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しています。なお、退職給付債務の算定にあたり簡便法を採用しております。

(4) 収益及び費用の計上基準

当社はホテルの運営、それらに付帯するサービスの提供を中心としたホテル事業を営んでおります。

サービスの受渡時点において顧客が当該財又はサービスに対する支配を獲得し、当社の履行義務が充足されると判断し、収益を認識しています。

(5) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

グループ通算制度の適用

三重交通グループホールディングス株式会社を通算親法人とするグループ通算制度を適用しております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

・当該事業年度の末日における発行済み株式の種類及び株式数

普通株式	200 株
------	-------

3. 収益認識に関する注記

収益を理解するための基礎となる情報は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「収益及び費用の計上基準」に記載しております。